

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会－歯科医療政策アンケート概要

「保険で良い歯科医療を全国連絡会」は、12月16日実施される衆議院選挙の実施に伴い、「衆議院選挙に向けた歯科医療政策アンケート」を実施しましたので、概要を紹介します。（※11月25日現在、回答のあった政党は、民主党、自民党、国民の生活が第一（国民生活）、共産党、社民党、日本維新の会（維新）の6党、国民新党、公明党、みんなの党は、未回答であった）

- ◇ 「総選挙でのマニフェストの中に歯科医療政策はあるか」では、「ある」と答えたのは、**自民党、共産党**、「検討中」は、**民主党、社民党**。**維新**は「ない」と回答。
- ◇ 「窓口負担の大幅軽減すること」については、「賛成」が**共産**のみ。**維新**は反対であった。その他は、「慎重に検討」（**民主**）、「国民の生活を立て直し、公平な社会の確立などのバランスの上で実現されるべき」（**国民生活**）、「経済的支援をおこなう」（**社民**）などとコメント。
- ◇ 「中学生までの窓口負担を無料にすること」については、「賛成」は、**共産、維新**。その他の政党は、「慎重に検討すべき」（**民主**）、「虫歯予防、検診を優先すべき」（**社民**）。
- ◇ 「高齢者の窓口負担を無料にすること」については、「賛成」は**共産**のみ。「反対」は**維新**で「フローの所得と資産をお持ちの方は先ずご自身で」とコメント。その他は、「慎重に検討すべき」（**民主**）、「虫歯予防、検診を優先すべき」（**社民**）。
- ◇ 「歯科医療崩壊を食い止めるためのさらなる歯科診療報酬の引き上げ」については、「24年改正の実績を見て判断」（**民主**）、「歯科医療関係者、保険者、国民皆様のご意見を十分に伺いながら検討」（**自民**）、「適正な診療報酬への引き上げはある意味当然のこと」（**国民生活**）、「抜本的な増額・改革が必要」（**共産**）、「**国民生活**を守る観点から引き上げます」（**社民**）。**維新**は、「反対。現在混合診療がすでに行われている為更なる自由競争化をはかる」とコメント。
- ◇ 「日常的に行われている歯科治療の保険給付外診療を保険給付の対象とすること」については、「賛成」は**共産**。「反対」は**維新**。その他は、「中医協において、協議し、判断すべき事項」（**民主**）、「当然不可欠な要素」（**国民生活**）、「健康維持に関するものは保険給付の対象拡大すべき」（**社民**）とコメント。
- ◇ 「混合診療拡大」については、「反対」は**民主、共産、社民**。**維新**は「賛成」。**民主**は「現時点ではそのような方針はない」とコメント。その他は、「受ける患者の負担が減り、新しい技術にチャレンジする歯科医師が増えることはすばらしいが無益な競争は避けるべき」（**国民生活**）とコメント。
- ◇ 「歯科健診を充実させること」については、**民主、自民、共産、社民、維新**は「賛成」。**国民生活**は「重要である」とコメント。
- ◇ 「歯科医療提供体制の確保」については、「高齢者の在宅歯科医療、口腔ケアに対応できる人材確保を行うべき」（**民主**）、「職業教育に特化した新しい高等教育機関を創設。現状の存在意義を十分認識して、財政支援と教育内容の充実など公的支援を図る」（**自民**）、「格段の配慮をなすことは不可欠」（**国民生活**）、「医歯間格差の是正、海外技工物の規制、国内技工物の診療報酬の引き上げ、国の責任で従事者の計画的養成」（**共産**）、「人材の養成、確保、安全性の確保できない海外技工物の輸入の禁止」（**社民**）などとコメントした。